

## 新潟市財産経営推進計画

H27-R22年  
(25年間)

※総合管理計画に該当

本有識者会議での議論の範囲

### 基本方針編

- 課題整理 将来推計人口、財政状況、公共施設等の更新費用
- 基本的な考え方 公共施設、インフラ資産の基本方針、財産経営の4本柱
- 推進体制 推進本部、部会、職員の育成等
- 推進方策 市民ニーズや施設状況の把握と課題の整理  
個別計画の策定、市民との意識共有 など

R01策定

### 施設種類ごとの配置方針

類似施設、利用圏域による施設配置の方針

### 公共施設 マネジメント編

- 公共施設の基本方針
- 市民意見と意識共有、機能重視、計画的な保全、歳入確保
- 施設運営における検討課題(用途別)
- 地域別の課題整理、検討方法、施設最適化の考え方、ケーススタディ
- 個別計画(地域別の実行計画等)、地域住民との意識共有、協働 など

### インフラ資産 マネジメント編

- 道路、橋りょう、公園、上下水道等の維持管理の基本方針
- 各施設の概要(規模、状況)
- 施設の特性に応じた計画的・効率的な維持管理と修繕及び更新
- ライフサイクルコストの最小化を踏まえた長寿命化
- 今後の取り組み など

### 地域別実行計画

(H28年～ 随時策定)

計画期間

5～10年

概ね中学校区ごとに策定する地域密着施設の再編計画  
潟東、曾野木、葛塚、坂井輪の4地域で策定済

# 現行の財産経営推進計画および公共施設の種類ごとの配置方針の概要

## 施設種類ごとの配置方針

### 配置方針の構成

【全施設共通の方針：種類ごとに圏域内での集約化を進めるとともに、他種類との複合化を推進】

圏域	方針案	着手のタイミング
I（全市域・11）	施設種類ごとに原則1施設を前提とし、検討を進める	・再編案の検討は方針策定後速やかに着手
II（1～3区・59）	施設種類ごとに圏域内での集約化、複合化の検討を進める	・再編は長寿命化の時期など、施設異動のタイミングで着手
III（地域・634）	以下の視点に基づき、地域別実行計画の策定を通じ地域と検討を進める。 ・誰もが利用できる地域密着施設は将来的に原則1か所を目指しつつ、圏域の広さや施設利用率、人口等を勘案し集約化、複合化を図る。 ・特定目的の施設は誰もが利用できる地域密着施設との集約化、複合化を目指す。	・方針策定後速やかに（仮）地域別再編案の検討に着手 ・地域別実行計画の策定は長寿命化の時期など、施設に異動がある地域から優先的に着手

【施設種類ごとの方針：17の施設種類ごとに ①継続・運用上の工夫 ②多機能化・複合化 ③集約化 ④用途転用により検討を進める】

No	施設種類	数	今後の方向性
1	ホール施設	15	(全施設) ①継続・運用上の工夫 ○新たな活用方法の検討 ○市共催事業に関する使用料減免の厳格化・統一化の検討 ○圏域内で集約化 ③集約化 (圏域II) ②多機能化・複合化 ○親施設として多機能化・複合化
2	コミュニティ系施設	125	①継続・運用上の工夫 ○公平にサービスを提供する仕組みを整備 ○一部施設は地域への貸し付けや譲渡を検討 ②多機能化・複合化 ○親施設として特定目的の施設機能を吸収 ③集約化 (圏域II) ○圏域内集約化 (圏域III) ○地域内集約化
3	美術館	2	①継続・運用上の工夫 ○効率的な運営や相互協力体制を進め、両館を維持
4	博物館・資料館	15	①継続・運用上の工夫 ○歴史博物館は現状を維持 ○民具等収集のあり方、効率的な保管方法の整理・運用 ②多機能化・複合化 ○圏域内で多機能化・複合化
5	文化財的施設	7	①継続・運用上の工夫 ○施設は適切に保存・活用 ○指定管理者制度の移行や観覧料の見直し
6	図書館	38	①継続・運用上の工夫 ○各図書館の役割設定 ○利用の少ない図書館、図書室の運営等の検討や代替サービスによる機能補完 ②多機能化・複合化 ○親和性の高い生涯学習施設や地域の拠点施設へ多機能化・複合化

No	施設種類	数	今後の方向性
7	スポーツ施設	41 (147)	①継続・運用上の工夫 ○コスト見直しなどによる収支改善 ②多機能化・複合化 ○利用実態に応じ、コミュニティ系施設や学校体育施設との多機能化・複合化 ③集約化 ○スポーツ施設種類ごとの集約化
8	ひまわりクラブ	121	②多機能化・複合化 ○小学校での整備を基本とした多機能化・複合化
9	子育て支援施設	30	(児童館) 14施設 ①継続・運用上の工夫 ○新設せず学校などの既存施設にてサービス提供 ②多機能化・複合化 ○学校や地域拠点施設への多機能化 (子育て支援センター) 16施設 ③継続・運用上の工夫 ○利用者層の変化に伴うサービス見直し ④多機能化・複合化 ○基幹保育園の配置（整備）と併せた機能集約の検討
10	高齢者福祉施設	46	①継続・運用上の工夫 ○多世代交流の場としての活用方法を検討 ②多機能化・複合化 ○老人憩の家や老人福祉センターは、多世代交流可能な地域拠点施設に機能移転
11	保健福祉施設	26	①継続・運用上の工夫 ○貸室や利用料の設定について検討 ②多機能化・複合化 ○老朽化等施設の機能代替を果たせるコミュニティ施設等への多機能化・複合化
12	幼稚園	10	①継続・運用上の工夫 ○センター的役割を果たす幼稚園へ教育水準向上に資する取組を集中投資 ③集約化 ○5園に再編（沼垂、新津第一、新津第三、結、西を存続予定） ○センター的役割を果たす幼稚園へ集約
13	保育園	86	①継続・運用上の工夫 ○最大限の民間活用 ○拡充が必要な保育サービスの実施 ③集約化 ○保育士の労働環境の適正化 ○市立保育園配置計画（2018年10月策定）に基づき、概ね20年後（2040年ごろ）までに、現在の施設の半数程度を目標に集約
14	小中学校	161	①継続・運用上の工夫 ○未利用時間帯の諸室有効活用 ②多機能化・複合化 ○児童の教育・福祉環境や地域活動に資する利用についての多機能化 ③集約化 ○適正規模をめざし集約化
15	公設デイサービス	19	民営化 ○公設から民設へ移行
16	公営住宅	62	③集約化 ○推計した将来ストック量を踏まえ団地別・住棟別の事業手法を選定し、継続管理と判定された団地は長寿命化することで需要に応える
17	斎場	5	①継続・運用上の工夫 ○需要ピーク時まで現体制維持○使用料設定の検討 ③集約化 ○ピーク時以降集約化

# 現行の財産経営推進計画および公共施設の種類ごとの配置方針の概要

